



和かつば

現在の和食ダム

左岸再掘削に向けた準備中！



下流側から望む和食ダム



右岸側から望む和食ダム

現在、和食ダムでは左岸再掘削に向け引き続き、掘削時に落ちてくる土砂や岩石からダム堤体を保護し、安全な作業を行うための防護柵を施工しています。また、雨天時の路面洗掘による濁水防止対策としてダム上流側工事用道路へのコンクリート舗装や関連工事として新残土処理場へ進入するための仮設道路工事も同時進行中です。

今のところ左岸側の再掘削は来年1月から始まる予定となっています。今後ともよろしくお願いたします。



施工中の防護柵。掘削時に万が一、土砂や岩石が落ちてきても受け止めます。



管理棟基礎に影響を及ぼす不安定な岩盤を掘削除去しました。



コンクリート舗装を施工し、雨天時の路面洗掘による濁水を防ぎます。



新残土処理場へ渡るため、盛土による工事用道路を設置しています。

平成30年7月豪雨について

このたび、西日本中に大きな被害をもたらしました「平成30年7月豪雨」により、和食ダムにおいても、左岸再掘削に向けて造成をしていた土砂集積ヤード、河川水を上流からヤードの下を流すための転流工や仮設施設が被害を受けました。

このため、和食川上流域に土砂や配管等が流出してしまい、皆様には大変ご心配をおかけいたしました。

転流工被災前



転流工盛土・土のうが流出し、排水管が露出



下流側仮設ヤード・通路の被害状況

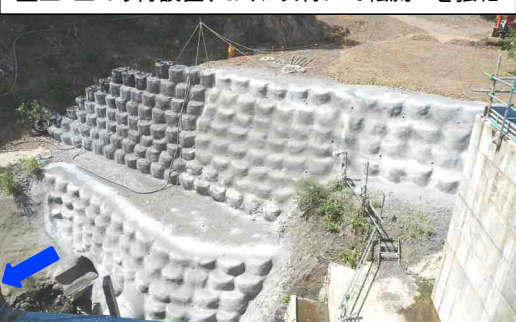


現在は河川内の土砂や流出物の撤去は完了しました。

関係者の皆様、作業に際しご理解とご協力をいただきありがとうございました。

今後は大雨等増水に備えた余水吐き、仮設物の流出防止対策としてモルタル吹付を実施する予定です。

盛土・土のう再設置、モルタル吹付にて転流工を強化



仮設ヤードの復旧状況



流出土砂の撤去状況



芸西村の史跡紹介【第15弾】

あみだどう 「阿弥陀堂」

《阿弥陀堂》

阿弥陀堂とは、本尊に阿弥陀如来を安置し、ごくらくじょうどた極楽浄土を表現した堂で、平安時代に各地で建立されたと言われていいます。

芸西村の馬ノ上にも阿弥陀堂がありますが、いつ建立されたのかは定かではないようです。

お堂には、「大正十三年（一九二四）九月一日修繕」と書かれた棟札があり、二枚扉（厨子）の中に高さ30cm程の木彫りの仏像がお手の欠けた姿で安置されています。

旧暦9月15日（10～11月頃）には馬ノ上西地区の人たちによって祭礼が行われています。

今回は「天満宮」です。



お知らせ



ダム右岸天端の展望台よりダム建設現場を見学できるようになっていますが、上流側工事用道路や左岸再掘削等により大型車両の通行頻度が高くなっています。現場では交通安全を徹底しておりますが、見学にお越しの際は、場内の案内を確認いただき安全な見学をお楽しみください。

ご不明なこと等ありましたらお気軽にお電話ください。お待ちしております！

今後の和食ダム便りは10月下旬予定です。